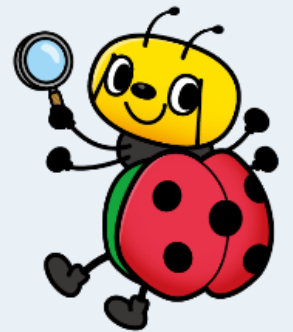


電子植物検疫証明書(ePhyto)の 概要

令和8年3月30日
農林水産省 植物防疫所



電子植物検疫証明書（ePhyto）とは

- 「electronic phytosanitary certificate」を意味し、植物検疫証明書（Phytosanitary Certificate）の電子版です（国際条約上の位置付け）。
- 国際植物防疫条約（IPPC）に基づいて策定された、植物検疫措置に関する国際基準（ISPM）で定められたXML形式のフォーマットで生成されます。
- IPPCが運用するePhytoHUBシステムを経由して、二国間で合意した国家間で送受信されます。

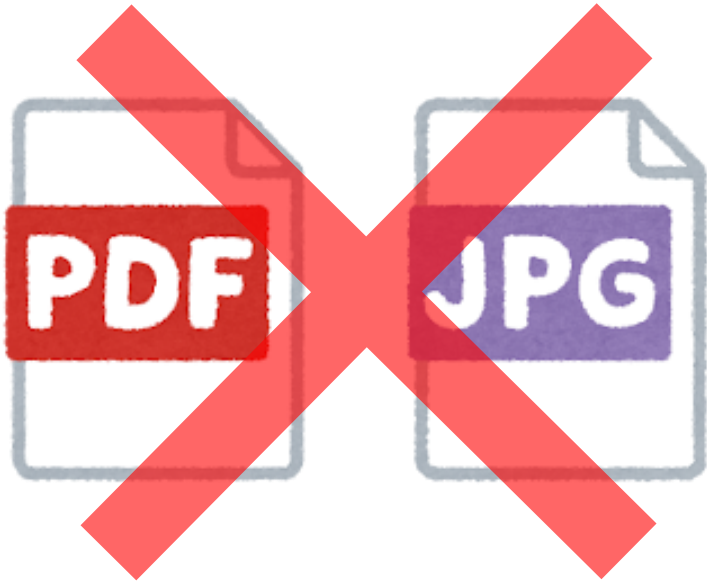
<ePhytoのXMLデータ（例）>

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<rsm:SPSCertificate xmlns:udt="urn:un:unece:uncefact:data:standard:UnqualifiedDataType:21" xmlns:ram="urn:
xmlns:rsm="urn:un:unece:uncefact:data:standard:SPSCertificate:17">
  <rsm:SPSExchangedDocument>
    <ram:Name/>
    <ram:ID>F-F-13121-03280016-7-N</ram:ID>
    <ram:TypeCode>851</ram:TypeCode>
    <ram:StatusCode>70</ram:StatusCode>
    <ram:IssueDateTime>
      <udt:DateTimeString>2018-10-03T09:35:49-05:00</udt:DateTimeString>
    </ram:IssueDateTime>
    <ram:IssuerSPSParty>
      <ram:Name>Animal and Plant Health Inspection Service Plant Protection and Quarantine</ram:Name>
    </ram:IssuerSPSParty>
    <ram:IncludedSPSNote>
      <ram:Subject>SPSFL</ram:Subject>
```

紙の植物検疫証明書とは異なるXML形式のデータ

※ISPM12の付録で入力規則や入力項目、送受信方法等が定められている（＝各国が世界共通のフォーマットに従う）

これはePhytoではありません



紙の証明書原本をスキャンした
PDFファイルなど

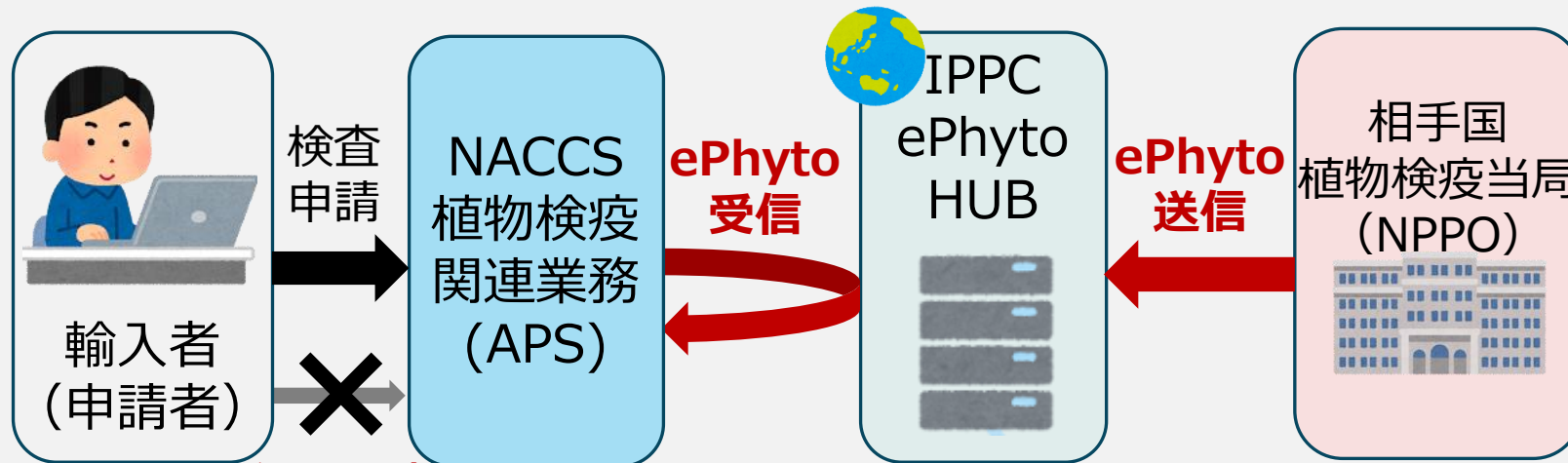


メールに添付されたXMLデータ※

※ePhytoのXMLデータだけで認められるのではなく、ePhyto HUBを
経由して送受信されることが必要です（経路による真正性の担保）

ePhyto導入によるメリット

輸入

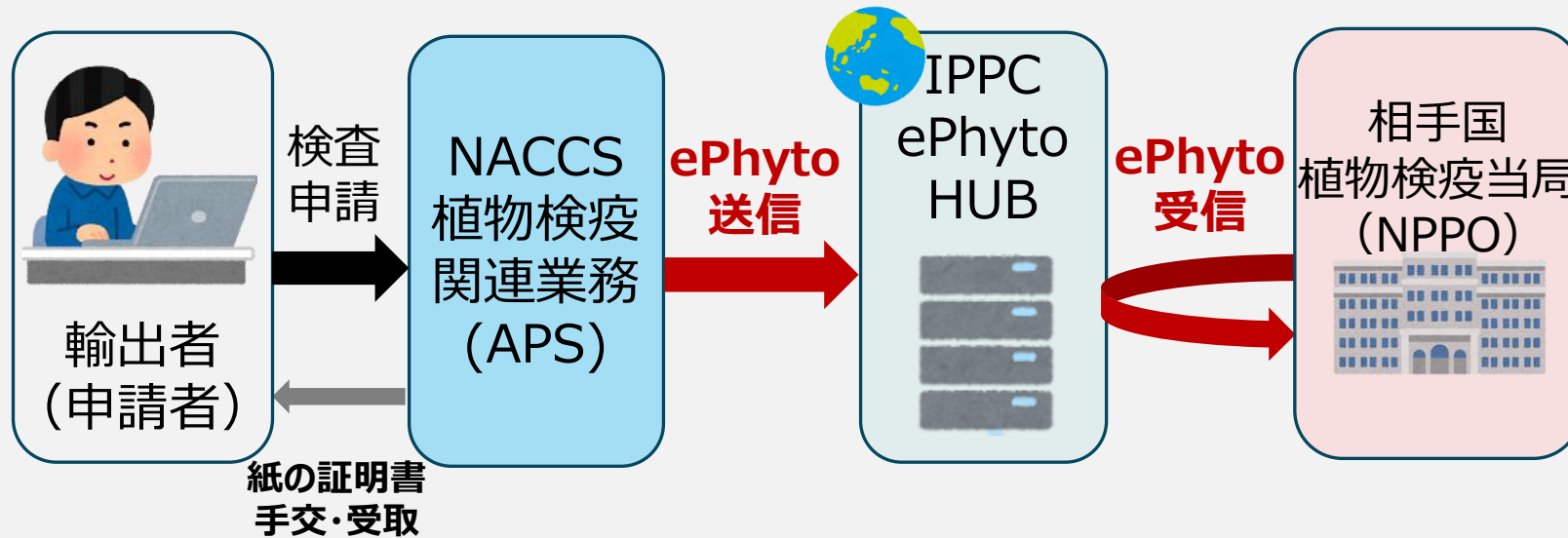


紙の証明書
提出・受取不要
※本格運用開始後

- ・紙の証明書(原本)の提出不要
- ・証明書の遅延・紛失解消
- ・証明書の偽造防止

ePhyto導入によるメリット

輸出



・証明書の相手国への送信がePhytoHUBを介して行われる※

⇒証明書の輸送コスト削減、遅延・紛失解消

※紙の証明書の手交・受取は引き続き行われます。